

秋田赤十字乳児院

広報誌 第65号

理 念

私たちは、赤十字精神のもとに、子どもたちの権利擁護と最善の利益を守り、心身ともに健やかな成長を図ることのできる愛情のこもった養育環境を提供します。

よちよち ちゃん





みんなでお出かけ行ったよ！



大きな車に乗ってのお出かけに
ちょっぴり緊張…



帰りの車中ではみんなぐっすりでした

ばんび組養育室を小規模グループケア化するため、
改修工事を行う間、子ども達は院外保育へお出かけを
たくさんしてきました！

数日に分けて秋田県児童会館、イオンモール秋田、
秋田空港、下浜海水浴場、鳥海山木のおもちゃ館、
ウェスター、なんびあへ。

幸いお天気にも恵まれ、思いっきり体を動かして
楽しんでできました。

中でも「木のおもちゃ館」は県南方面へ初の遠出。
行きの車中ではちょっぴり緊張顔も見られましたが、
到着すると満面の笑顔！一目散に滑り台に向かう子、
嬉しそうに木の野菜を手に取りまごごとをする子、
笑顔で三輪車をこぐ子…等

みんな思い思いに玩具にふれ、楽しんでいました。
地元の小学生のお兄さん、お姉さんともふれあうこと
ができ、素敵な夏の思い出となりました！



現在のばんび組の様子です。
(お風呂やトイレ、システムキッチン等を整備中)

なかなか設計図だけではイメージしにくいのでど
んなできあがりになるのかとてもたのしみ◎
あそこにはこれを置いて～
あの壁にはあれを飾ろう♪
想像中です！(๑ꙵ´·ω·)๑ꙵ`)



工事中

ひよこ組

スポーツの秋、ひよこ組では寝返りやハイハイなど、のびのびと運動する姿が見られます。

最近つかまり立ちができるようになったKくん。よいしょ！とたっちをして職員と目線が合うと「へへっ！」と得意げに笑います(^-^)
ちょっとずつ成長していく姿に職員も驚きと喜びの毎日です。明日はどんな姿が見れるかなあ！

(佐々木 (愛))

お外は何が
見えるかな？



ぱんだ組

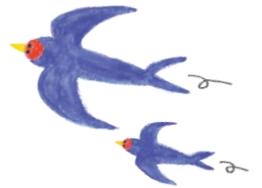
猛暑の中ではありましたが、ぱんだ boys は初めての遠出で動物園に行きました。本物の動物たちを目の前にしておめめキラキラ☆、ぱちくり。自由人の僕たち、涙あり笑いありの毎日で、たくさんことができるようになってきているよ。四者四様、枝を伸ばして色々な『芽』が育ってきています。すくすく大きくな～れ。(嶋)



じっくり観察中・・・66



保育室ダイアリー



ぼんび組

とっても暑かった今年の夏。お外で遊べない時は、お部屋の中でスライムや小麦粉粘土で遊びました。最初はどきどきして触れなかった子どもだんだん慣れてきてにっこり笑顔で楽しみました♡
また遊ぼうね♪ (石井)



びよ～んと
伸びる
スライムに
興味津々！

ことり組

お手伝いやお世話が大好きなことり組のお姉さんたち。職員や小さいお友だちが困っていたら「だいじょうぶ？」と声をかけてくれたり、ぬいぐるみ相手に抱っこやなでなで、献身的にお世話をする姿に、成長を感じる日々です。おしゃれにも目覚め、着たい服を自分で選んでいます(気付けば全身ピンク！な日も^-^;)。好きなもの、好きなこと、これからもたくさん見つけようね。(佐々木 (夕))



スカートとオーガンジーで、かわいく変身☆

令和5年7月14日からの大雨災害について

7月14日から大雨により、乳児院がある秋田市広面地区にも、15日に避難指示が発令され、10時22分職員へ緊急通報を発報。当日、勤務職員ならびに駆け付けた職員で、避難所である東部市民サービスセンター1階に子どもたちを公用車でピストン輸送し、10時54分、避難物品と子どもたち全員避難を完了しました。

年に一度、水害想定避難訓練はしていたものの、実際に避難したのは今回が初めてとなりました。子どもたちは、はじめて入った1階のお部屋にテンションは高まっていますが、院長をはじめ、緊急通報で駆け付けた普段はいない応援職員のいる避難所の状態にドキドキしている様子でした。

16時ころには、乳児院の目の前の道路にも、見る見るうちに水が流れ込んできて、あっという間に膝下あたりまで川のような状態となりました。子どもたちの不安を少しでも軽くするため、できるだけ普段と変わらない状態を保とうとおやつを食べ、持参したおもちゃや絵本を広げて遊びました。

大人が窓から外を見ていると「見たい！抱っこ！抱っこ！お外見る！」と、言うので何度もお外を見ました。そこには、見たことのない光景が…駐車場の車が水没していく様子。タイヤや漬物樽が流されていく様子。子どもたちと「怖いね。早く雨がやみますように！」と、持参していたスケッチブックで、てるてる坊主をつくり窓に置きました。夜になり、簡易的な夕ご飯を済ませ子どもたちは寝る時間。いつもと勝手の違う夜勤体制でしたが、院長と数人の職員が避難所に残り夜勤職員と一緒に子どもたちの側にいてトントンすると、すんなり入眠しました。朝になると、雨は弱まり避難所の周りを囲っていた水量も減っていました。乳児院の周辺を見に行くと大きな被害はなく施設内も異常が見られない状況だったため、避難所を撤退し、全員無事に帰院することができました。（公用車は一台浸水し、廃車になってしまいましたが…）

止むことのない雨と、各地域の被害状況、そして不安そうな子どもたちの表情を思い出すと、数カ月前の出来事ながら胸が痛みます。

最後に、今回の大雨災害の際には、多くの方からご心配の声をいただき、改めて乳児院は多くの方々に支えられていると感じた次第です。これからも、当院は、乳児院の子どもたちの安全を守り、地域に密着した乳児院として子育て支援等を継続できるよう日々の備えに努めて参ります。

避難させていただいた東部市民サービスセンター1階の様、ご配慮いただいた乳児院のスペースにご協力いただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。

そして、インターネットを通じ集めた寄付物品等をお寄せいただきました皆様に改めまして感謝申し上げます。



編集後記 ～スタッフから一言～

今年の夏は記録的猛暑が続き、過ごしにくい日が続きました。毎日のように熱中症警戒アラートの発令…。子どもたちの大好きなプールも中々できず辛抱の日々でした。

そんな秋田もようやく涼しい風が吹き、季節の変わり目を感じています。食欲の秋、スポーツの秋、紅葉の秋。さて、今年の秋はどんなことを楽しもうかな？…やっぱり美味しいものをたくさん食べたいなあ◎

羽根川

9月1日は、防災の日！



今回の経験を活かし、次に繋げるために9月1日、非常食体験としてポリ袋での炊飯を行ったり、新たに購入した使い捨ての哺乳瓶体験をしました。また、新たに、土のうや瓶を汚すことなく使えるインナーバッグを整備し、いつ災害が起きてもおかしくない状態に備え、訓練を重ねていきたいと思えます。

■編集・発行 秋田赤十字乳児院
〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町 100-3
TEL 018-884-1760 FAX 018-884-1762
電話相談 018-884-1761 (8:30~23:00)
ホームページ <http://akita-nyuji.jrc.or.jp/>